

| PTA活動紹介 | | 部門 | 特別支援 |
|-------------|---|----|------|
| 学校名 | 愛知県立千種聾学校 | No | 4 |
| 活動テーマ | 手話学習会 | | |
| 開催日 | 平成27年11月16日(月) | | |
| 場所 | 愛知県立千種聾学校 会議室 | | |
| 時間 | 10:00~11:00 | | |
| 参加者 | 幼稚部保護者16名、小学部保護者9名 | | |
| 趣旨 | 聾学校では、手話は授業はもとより生活のあらゆる場面で使用している。それは、家庭においても同様である。しかし、保護者が手話を学ぶ機会は意外に少ない。特に、聾学校の幼稚部や小学部の低学年の保護者は子どもの送り迎えや学校の指導場面を参観する機会が多いので、学校にいる時間が長く手話を学ぶ時間があまりない現状である。 そこで、学校において手話を楽しく学ぶ「手話学習会」をPTA主催で行っている。講師を聴覚障害のある保護者をお願いし、身近な話題を中心に手話でやりとりする中で、比較的自然に手話が身に付くように工夫している。 | | |
| 活動ポイント | 「学習会」という活動であるが、普通の何気ない会話に手話をつけることで、自然に手話を覚えられ、個々の手話のレベルや子どもの年齢に関係なく、みんなで楽しめることに重点をおいている。 | | |
| 主体委員会名・講師名等 | 研修委員会 | | |

活動内容
保護者の手話のレベルはさまざまである。手話は必要ないという保護者もいる。初心者でもはずかしくなく、上手な人にも興味深い内容を考え実践した。

- ① 手話の読み取り
講師に声を出さず手話だけで話をしてもらい、内容を読み取る
↓
わかった所だけ答えてもらう
↓
わからなかった所などを講師に解説してもらい、正解をみんなで確認する



* 話したい内容を手話で表現する際には、簡単な文章に直したり自分の手話のレベルに合わせた手話表現に変えて表現したりするなどでき、習得が比較的容易にできる。しかし、手話の読み取りについては、一人一人の表現にくせがあったり知らない手話表現が使われていたりするなど難しい面が多い。そのため、本研修会では、手話の読み取りを取り入れ、少しでも読み取りの力量をアップさせたいと考えた。

<感想>
手話の読み取りでは、講師の方に”学校におばけがいる?! 話”や”休日の話”、”家族の話”など身近な話題で話してもらったので、参加者も楽しみながら「話を聞く(見る)」ことができたと思う。

- ② 手話ソング「世界にひとつだけの花」
講師に、歌詞を順に一つ一つ表現してもらい。
↓
疑問に思う手話表現や歌詞の解釈について、みんなで意見を出し合う。



例1) 一生懸命になればいい
”いい”には、2つの表現(良いと構わない)があり、この場合の”いい”はどちらがぴったりくるか。

例2) ずっと迷っている人がいる・ やっと店から出てきた(人)
この”人”を”女性”の手話で講師は表現したが、男性ではないか。
↓
みんなの意見や考えを聞き、手話表現を講師が決める。
↓
何度か通して練習して、曲を流して合わせてみる。



* 手話が苦手、難しいと思う人にも参加してもらいやすいように、みんなに親しみのある曲を選んだ。気軽に参加してもらいながらも、歌詞の内容に合った適切な手話表現を一緒に考えることで、少しでも手話に親しんでもらえるような内容にした。

<感想>
手話ソングは、初めて実施したが、楽しかったという意見が多く、好評だった。歌詞をそのままダイレクトに表現せず意味を考えて適切に表現するという点はとても興味深かった。迷う表現を参加者(健聴者)と講師、みんなで意見を出し合えてよかったと思う。